

令和2事業年度

決算報告書

第11期事業年度

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

公立大学法人 広島市立大学

令和2年度決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,209	3,266	57	(注1)
授業料、入学料及び入学検定料収入	1,103	1,197	94	(注2)
受託研究収入	68	69	1	(注3)
補助金収入	8	21	13	(注3)
寄附金収入	15	24	9	(注3)
雑収入	169	167	△2	(注4)
積立金取崩	260	79	△181	(注5)
計	4,835	4,828	△7	
支出				
教育研究経費	1,234	1,132	△102	(注6)
人件費	2,881	2,728	△153	(注7)
一般管理費	627	582	△45	(注8)
受託研究経費	68	50	△18	(注3)
補助金事業費	8	19	11	(注3)
寄附金事業費	15	20	5	(注3)
計	4,835	4,534	△301	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生への支援に係る追加交付による増
(注2) 修学支援新制度による授業料減免対象者が見込みを下回ったことによる増
(注3) 外部資金は、受入れ実績等に基づき予算額を計上しましたが、受託研究については受託金額が見込みより増加したため収入の決算額が増となった一方、支出の決算額は次年度以降への繰越案件があったため減となっています。
また、補助金及び寄附金については補助金額及び寄附金額が見込みより増加したため決算額が増となっています。
(注4) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国際学生寮の入居者数が見込みを下回り使用料収入が減少したことによる減
(注5) 修学支援新制度による授業料減免対象者が見込みを下回ったことによる減
(注6) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による短期語学留学研修の中止等による減
(注7) 教員の計画的採用等による執行残
(注8) 光熱水費の削減による執行残

○ 損益計算書の計上金額と決算額の差異について

(収益と収入決算額の差異)

- (1) 決算報告書では、損益計算書に収益として計上されていない固定資産取得に充てられた収入等が収入として計上されています。
(2) 損益計算書では、決算報告書に収入として計上されていない資産見返負債戻入や授業料等のうち減免等により収入がなかった金額が収益として計上されています。

(費用と支出決算額の差異)

- (1) 決算報告書では、損益計算書に費用として計上されていない固定資産取得額等が支出として計上されています。
(2) 損益計算書では、決算報告書に支出として計上されていない減価償却費や授業料等の減免額等が費用として計上されています。

○ 損益計算書の計上金額と決算額の集計区分の差異について

一般管理費の一部について、損益計算書上では教育経費、研究経費及び教育研究支援経費として計上しているものがあります。